



3学部設置の良さ(手助け)

小学部1年生の児童が、スプーンを片づけている時、誤って床に落としてしまいました。それに気がついた高等部3年生の生徒は、スプーンを拾って、お盆に片づけ始めました。

そばにいた高等部の先生は、「お盆に入れずに、小学部の子に渡してあげて」と言いました。

高等部の生徒からスプーンを受け取った小学部の児童は、「ありがとう」とお礼を言いました。その後、小学部の児童は、最後まで一人で片づけをすることができました。

小学部の児童は、自分の役割をはたして、とても満足気でした。高等部の生徒も役に立てて、とても嬉しそうでした。

今回は、学校の入り口ともいえる小学部1年生と、出口ともいえる高等部3年生のやりとりでした。二人のやりとりを生んだ先生の言葉も、ナイスアシストでした。(山賀)

